

保育者を志望する学生の身体教育場面の状況認知教育方法の検証 —Schön のフレーム理論から—

佐近慎平¹⁾、鶴瀬亮一¹⁾、内山渉²⁾、西原康行¹⁾

1) 新潟医療福祉大学 健康スポーツ学科

2) 新潟総合学園 eラーニング推進室

【背景・目的】 2018年4月に幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が改訂され、保育者の教育力、専門性に注目が集まっている。戸田(2018)は、保育の質を問うており、保育者の力量形成が喫緊の課題として、実践する保育者を中心とした研究一人ひとりのこどもに合わせた実践の研究、その実践の振り返りの研究を挙げている。保育の“場”は、生き物のように刻々と変化する。保育者が「今ここ」において行動する時、対象となる幼児のヒストリー（過去）、ストーリー（今とこれから）、保育理念（自身の持つ保育者経験・保育感等）、教養や経験（今まで培ってきた全ての経験等）、自身を構成する全てを導入して判断し、行動する。保育者の力量には、明示化された知識や技能に加え、創造性や暗黙知等で構成されている。本研究では、保育士を志望する学生の初期教育に焦点を当てる。実習等の“場”での実践による学びの前後・並行して、表層の学びから、深層を読み解くための、“場”の見方を学び、学生の保育力量を形成することを目的とする

【方法】 Schön 理論の「反省（省察）的実践家」「フレーム」を援用し、保育者の実践を可視化/読解する。さらに教育学で用いられる VTR ストップモーション法を採用し、身体教育の場の映像を視聴し、状況認知を書き出す。省察の際は、吉崎（1987）の授業についての教師の教授知識を参考に、幼児の様子、教授内容、教授技術の3つのフレームを設定し半構造化した。省察に用いる熟達者の状況認知は、主たる研究者が実施している幼児の体力向上事業のA市の主任以上の保育士の状況認知を表にまとめた。研究対象は、保育士養成課程の学生25名とし、データ採取手順は、介入前・動画視聴し状況認知を書き出す、熟達者の状況認知を学習し、1週間後に2回目を実施し（介入後）、学生の状況認知数と熟達者の認知との一致数を介入前後で比較検証した（TTEST）。また、質的研究を実施し、表層の認知が深層化する過程を抽出した。

主たる研究者の特性と反映性は、B県・C市等の幼児の体力向上事業のアドバイザー（2017～）を務め、保育者向け研修会（身体教育）の講演実績も多数ある（新潟県幼児期からの運動習慣アップ事業6会場：約300名：アンケート結果・大変満足90%）。また、共同研究者と協議を重ね質的研究の精度を高めている（スポーツ指導者、教師教育の力量形成）。

なお、本研究は新潟医療福祉大学倫理委員会の承認を受け、関連する利益相反はない。

【結果】 保育士志望学生の状況認知数（図1）、保育士志望学生の状況認知と熟達者の状況認知との一致数（図2）を示した。3フレームは介入前後において、状況認知数、熟達者との一致数において有意差を確認した（ $P < .01$ ）。

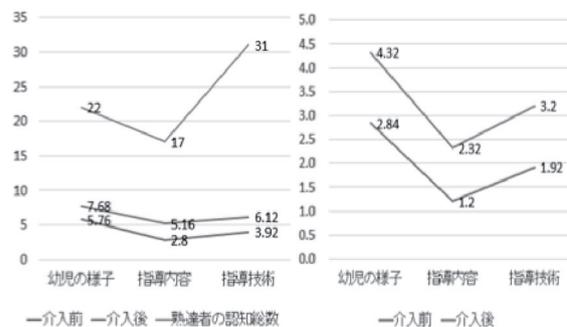


図1 保育士志望学生の状況認知数

図2 保育士志望学生の状況認知と熟達者の状況認知との一致数

次に、表層の認知が深層化する過程についての質的研究結果を述べる。本研究用身体教育場面の動画は、4歳児30名を体育指導者がリードし、幼児が主体的に取り組んでいる。その際、導入時に幼児の創造性を引き出すために、小さい声を用いて、注意を集め、活動に入っていく場面がある。介入前の気づきは、指導技術において「小さな声で話すことで子ども達が静かに忍び足をするようにしている」であったが、介入後は指導技術「小さな声で指導内容を言う」、指導内容「小さな声で話しかけることで、子どもの興味を示すようになる」、幼児の様子「小さな声に耳を澄ませて、指導者の真似をしている」と、3フレームが連動している学生が現れ、省察による教育効果が確認された。一方、学生の状況認知が表層から深層化しない場面があった。幼児が静かに石を表現し保育者が確かめに来る場面において、学生は「顔をあげてしまう」と表層を認知するが、熟達者は「早く確かめてほしくて、ワクワクして、顔をあげてしまう」と行動の意味を読み解いている。同様に教授内容を推察することが難しく全体的に認知数が少なかった。学生は、第一に幼児の様子から場を見ようとするが、熟達者は、指導技術と幼児の様子をみつつ、指導のねらいを整理する。これは、畠山（2018）の教師が持つフレームを「無意識的、または、意識的に実践の中に起こる出来事を含む＝理解し、行為につながる際の基盤・基準である」

と同じ現象であり、いくつかのフレームを連動して場を状況認知していることを意味した。

【結論】 教室での学習において、動画を視聴し、ストップモーション法を用いて、身体教育場面を読み解くことは、保育現場実習において、幼児へ身体教育を行う際に必要な基本技術の習得に有効であった。